

市民と議会

多摩大学附属聖ヶ丘高等学校
(探究ゼミ)

議会運営委員会

多摩大学附属聖ヶ丘高等学校
探究ゼミのみなさんに
聞きました

つな
が
る
～ 特別編 ～

#市議会議員が高校生に「ホンネ」を聞いてみた



2月18日(水)に多摩大学附属聖ヶ丘高等学校の「探究ゼミ」の授業時間に参加させていただき、16名のゼミ生(高校2年生)と意見交換会を行いました。

当日は池田委員長から市議会の紹介をした後、4つのグループに分かれて、2つのテーマを30分ずつ、活発な意見交換を行いました。



テーマ①市議会・市議会議員に対して、高校生世代が抱く印象や疑問について

議員の日常は見えづらい？

議員：率直に議員の印象を教えてください。

高校生：常に難しい話をしているイメージがあって、遠い存在に感じます。

議員：「議員」と言っても、市議会議員は遠い存在ではなく、皆さんの周りで普通に暮らしている普通の人なんですよ。

高校生：議会の1年間のスケジュールはどう進みますか？

議員：3・6・9・12月に定例会があり、そこで予算や条例を決めます。それ以外の時期は委員会単位や議員個人で勉強していることが多いです。

高校生：先日傍聴したのですが、市議会で取り上げるテーマはどのように調べていますか？

議員：3か月ごとに市長から議案が提案されるので、各定例に向けて議案を研究・検討しています。一般質問では、議員がそれぞれ自分でテーマを決めて勉強しています。



市議会議員とは、そもそもどういう存在？

高校生：市議会議員と市長の関係性は？

議員：両者は「二代表制」という仕組みの中で、お互いに市民の代表という立場で、協力しながら市長(行政)をチェックします。議員は地域から出された提案や要望などについて市議会を通じて市長に伝え、地域の課題解決のために必要な予算が確保されるよう努めています。